

令和2年3月19日

令和元年度（平成31年度）の日本農業法人協会の農作業安全の取組について

公益社団法人 日本農業法人協会

1. 当協会や都道府県協会の総会等での啓発

当協会の会員向けの各種会議やイベント等の際に、農作業安全ステッカーの配布及び当協会主催の農作業安全基礎研修会の説明、案内資料の配布を行った。また、都道府県農業法人組織（都道府県農業法人協会）の総会等にて労災保険等各種保険について説明・加入の呼び掛けを実施。その他、協会週報（アグリビジネス経営塾）のニュース欄やメールマガジンで随時周知を実施した。

2. 農作業安全基礎研修会の開催と展開

(1) 開催の背景・目的

新規就農者が増える中で、労働者に対する安全衛生教育は企業の責務であるとともに、農業の基礎知識・技術を労働者に教育することは農業法人の経営発展に必要不可欠である。また、近年の経営の高度化・多角化、規模拡大等により、人材育成が重要な課題となっている。

一方、農作業中における死亡事故は年間350件前後で推移しており、他産業と比べても非常に高い事故率となっている。農業を魅力ある産業としてさらに発展させるためには、この事故率の低下が喫緊の課題となっている。特に農業法人では、雇入れ時等の安全衛生教育は法で定められた重要な責務となっている。

しかしながら、社内だけでは十分な教育が難しく、社外に目を転じてみてもこれらを補完できるような場は少ないのが現状である。そこで、当協会では、農業法人に従事する新任者等を対象に、農業機械の基礎的な操作技術のほか、農薬・肥料の基礎知識や、安全に農作業を行うために必要な基礎知識・技術を習得するための研修会を平成25年より開催している。

(2) 開催概要

令和元年度（平成31年度）においては、農林水産研修所つくば館の協力を得て、4月に茨城県で開催。また、農機メーカーであるヤンマー株式会社と株式会社丸山製作所の協力を得て、11月に滋賀・長野、令和2年2月には秋田・岡山にて開催した。当協会会員法人の従業員等を中心に、全国からのべ86名にご参加いただいた。研修会では、農機・農薬・肥料の取り扱い等の農作業安全の基礎知識についての座学講習や、トラクタや管理機、刈払機の操作、整備等について実機による研修を実施。

写真① 農作業安全基礎研修会の様子
上 農薬・肥料取扱基礎講習
下 刈払機安全衛生教育・実技



トラクタについては、日本で唯一の専用施設を使用した傾斜路走行や畔越え等の危険走行体験や、ヤンマー独自の転倒体験装置による転倒疑似体験を実施した。

刈払機については、農業者の取扱作業者にも受講が推奨されている安全衛生教育のカリキュラムを研修内で実施し、修了証を交付した。

農薬・肥料・土づくり講習では、各資材の取扱いの基礎知識の説明により、薬害や農薬中毒など、事故以外での安全についても研修した。

参加した研修生に行ったアンケートでは、満足度について「とても満足」「満足」と答えた方が80%となっており、満足度の高い研修が実施できたことが伺える。



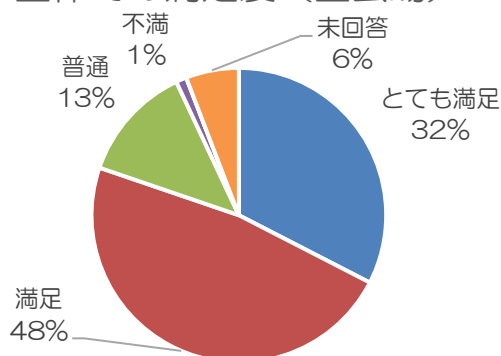
写真②農作業安全基礎研修会の様子
 上 トラクタの危険走行体験
 下 独自装置による転倒疑似体験

【アンケート結果（抜粋）】

全体での満足度

項目	茨城	滋賀	長野	秋田	岡山	全会場
とても満足	4	4	10	5	5	28
満足	5	13	8	8	7	41
普通	1	6	1	2	1	11
不満	0	1	0	0	0	1
とても不満	0	0	0	0	0	0
未回答	0	0	2	2	1	5
合計	10	24	21	17	14	86

全体での満足度（全会場）



■とても満足 ■満足 ■普通 ■不満 ■とても不満 ■未回答

3. 農業法人の作業現場での安全性診断と改善指導（実技と講習）

（1）趣旨

農作業の事故防止を図るため、農業法人の経営者から従業員を対象として、農業法人の実際の農業現場に農作業安全等の専門家を派遣し、労働安全及び農作業事故事例に基づく原因と対策等について理解を深めるとともに、具体的な現場改善策（ルールづくり）に資する研修会を開催する。

（2）開催概要

昨年に引き続き株式会社鈴生にて、専門家を招き、農機の格納庫等を点検し、グループミーティングや意見交換を通して、自社の改善点、対応策等の検討を行った。

研修会の最後には、各班ごとに「まずはこれをやろう」という項目を発表いただき、「機械作業する時は、周りに人がいないことを確認する」や「防草シート」を利用し、草刈り自体を減らす」などの意見が出された。

4. 今後の農作業安全の取り組みについて

当協会では、平成25年度より主に会員農業法人の従業員等を対象とした農作業安全基礎研修会を実施しており、令和元年度までで通算21回開催してきた。

今後も要望に合った地域や時期に開催していくことで、これまで遠方や農繁期等の理由により参加出来なかった方にも参加いただける機会を作り、多くの参加者を集め、農作業事故の減少に努めていきたい。

また、いずれの研修会にも、就農してからの経験が比較的浅い従業員の方々に多く参加頂いており、これらの若手従業員の方が研修で学んだことをそれぞれの農業法人に持ち帰り、自己の業務に活かすことにとどまらず、農作業事故の多い高齢の従事者をはじめとした他の社員にも共有し、全ての農作業従事者が今一度初心にたちかえり、安全に業務に従事できるよう、本研修会を通して働きかけを行っていきたい。

今後も農機メーカーのヤンマー株式会社・株式会社丸山製作所にご協力いただき、農林水産省補助事業等を利用した参加しやすく、実践的な研修会の開催を行っていく。

